

うちゅうせん新聞

広報係 2011年5月21日(土)発行

☆ 天文ボランティア会報 ☆

“例会”より

1月22日(土) 14:00~16:00 出席者7名

今年初めての例会でした。予定される観望会は、2月11日の海岸公園と19日の互理図書館だけなので、近況報告などしながらの例会になりました。

2月に開催される天文まつりについて、うちゅうせん新聞はメーリングリストの共有ファイルに載せることなど話し合いました。

2月19日(土)14:00~16:00 出席者5名

バレンタインの週の例会は、チョコッとうれしいチョコ付きの例会でした。東京で昨年から開催されている特別展「ダ・ヴィンチ ～モナ・リザ 25の秘密～」を観覧しての話とお土産。そして、この日のためにチョコを準備いただいた2名への感謝！。

観望会は終わったものの報告と、今後実施分3/12互理の参加希望、3月全体会の予定でした。本題は30分程度で後は雑談という形のマッタリ例会でした。



3月26日(土) 全体会14:00~17:00 <中止>

3/11の東日本大震災のため中止
4月も活動休止のため例会取り止め。

5月21日(土) 例会(全体会)14:00~予定

- ・2010年度活動報告
- ・2010年度の予定
- ・うちゅうせん新聞発行
- ・その他

全体会の様子は次号で報告します。
地元復興を信じ希望を持って進みたいものです。

3月11日、それは3月最後の観望会の前日、誰も予想していなかった地震と津波により大きな災難に遭遇し、この新聞を含め私たちの活動も止まってしまいました。今回3月発行分に追記した暫定発行としましたが今後については例会で検討していきます。

観望会より

海岸公園冒険広場観望会 2月11日(金) 18:00~20:00(うちゅうせん4名、参加者25名) 曇天

それまでの数日は星が見られたのですが、当日は曇天で室内の催しとなりました。まずはうちゅうせんの挨拶、それから自己紹介、その後今月の星空、星座物語《迷子になったインディアン》、トリビア天文クイズ《正解者5名に①望遠鏡②絵はがき③12星座カード④星座早見工作セット×2の賞品》の3プログラムで、参加賞にシールと写真をお渡しし、帰り際には2台の望遠鏡で疑似観望をして頂きました。



観望会の1ヵ月後に津波による被害に見舞われました。心からお見舞い申し上げます。

水の森キャンプ場観望会5月13日(金) 18:30~20:00(うちゅうせん5名、参加者10名) 晴天

今年度初の依頼観望会でした。

開始時刻ではまだまだ明るく、日の伸びている事を感じさせられます。挨拶自己紹介の後、管理棟で「今月の星空説明」から開始し暗くなるのを待って室外へ。黄砂や湿気の影響は有ったもの予報とおりの晴れた事で、月齢10のお月様と土星をメインに楽しんでもらう事が出来ました。土星を見る方が大半だった事から大層喜んでおられました。最後に室内で説明と質問コーナーで終了しました。

訃報

去る3月11日の東日本大震災において精力的に活動されていた総務企画リーダーの近藤さんが津波によりお亡くなりになりました。ご生前のご功勞に感謝し、謹んでご冥福をお祈り致します

4月3日、お別れの会があり「天文ボランティアうちゅうせん」名でご香典をお届けしております。

☆天文の話題

出典：国立天文台ホームページ 暦要項より

2012年の春分の日、秋分の日、それぞれ3月20日、9月22日になります。

秋分の日が9月23日以外の日になるのは、昭和54年9月24日以来、33年ぶりのことです。

法律で具体的に月日が明記されない国民の祝日のうち、春分の日・秋分の日、前年の2月の官報に暦要項を掲載することにより発表しています。

また、成人の日：1月の第2月曜日、海の日：7月の第3月曜日、敬老の日：9月の第3月曜日、体育の日：10月の第2月曜日と決められています。これにくわえて、「国民の祝日」が日曜日に当たるときは、その日の後で最も近い「国民の祝日」でない日を休日とします。

また、その前日および翌日が「国民の祝日」である日（「国民の祝日」でない日に限る）は、休日とすることになっています。

地球の運行状態などが現在と変わらないと仮定すると、将来の春分日・秋分日を計算で予想することができます。計算結果をした右に載せてます。

表1 西暦2000~2030年の春分日・秋分日

西暦年	春分日	秋分日
2000年	3月20日(月)	9月23日(土)
2001年	3月20日(火)	9月23日(日)
2002年	3月21日(水)	9月23日(月)
2003年	3月21日(金)	9月23日(火)
2004年	3月20日(土)	9月23日(木)
2005年	3月20日(日)	9月23日(金)
2006年	3月21日(火)	9月23日(土)
2007年	3月21日(水)	9月23日(日)
2008年	3月20日(木)	9月23日(火)
2009年	3月20日(金)	9月23日(水)
2010年	3月21日(日)	9月23日(木)
2011年	3月21日(月)	9月23日(金)
2012年	3月20日(火)	9月22日(土)
2013年	3月20日(水)	9月23日(日)
2014年	3月21日(金)	9月23日(火)
2015年	3月21日(土)	9月23日(水)
2016年	3月20日(日)	9月22日(木)
2017年	3月20日(月)	9月23日(金)
2018年	3月21日(水)	9月23日(日)
2019年	3月21日(木)	9月23日(月)
2020年	3月20日(金)	9月22日(火)
2021年	3月20日(土)	9月23日(木)
2022年	3月21日(日)	9月23日(金)
2023年	3月21日(火)	9月23日(土)
2024年	3月20日(水)	9月22日(日)
2025年	3月20日(木)	9月23日(火)
2026年	3月20日(金)	9月23日(水)
2027年	3月21日(日)	9月23日(木)
2028年	3月20日(月)	9月22日(金)
2029年	3月20日(火)	9月23日(土)
2030年	3月20日(水)	9月23日(日)

新聞で来年の秋分の日が9月22日になるのは、100年ぶりと言われ、新聞で読み暦は今も天文学によることを再認識しました。表では今後の秋分の日が閏年のような間隔で9/22となるようです。(辺)

地球の運行状態は常に変化しているために、将来観測した結果が必ずしもこの計算結果のとおりになるとは限りません。

編集後記

◆ もっぱら「朝型」で、明け方にかけて観望に出かけることが多いのですが、大分「薄明」が早くなってきた気がします。気がつけばもうお彼岸です。これから夜空がかすんでうまく見えないことが多くなりますが、少しでも多くのメシエ天体を観望してみたい今日この頃です。(なべII)

⊕ 桜が駆け足で通り過ぎていきました。山形の置賜街道(桜)を初めて訪ねてみました。朝日連峰をバックに綺麗に咲いていました。星・・・もうすぐ蔵王エコーラインも夜間開通しますね。天の川見に行きたいものです。(石)

♣ 4月に青森へ帰省した時、弘前市博物館ではやぶさ展を見て来ました。小惑星1161の地表が高温のため、獲物を捕らえてすぐに飛立つはやぶさの姿が命名由来と知り納得しました。報道では2年後にはやぶさ2号の計画もあるようで今から楽しみに応援したいです。(辺)

♣ 東北地方太平洋沖地震の本震が起こった日の晩、市街地は建物の電灯も街灯も信号機もついておらず、真っ暗でした。街中を歩いて帰りながら空を見上げると、普段街中ではとても見られない星々が明るく輝いていて、北斗七星等がくっきりと見えました。大変な日でしたが、都市化によって失われた星空が一時的に蘇った思いで、幾許か感銘しました。(今)

♥ あの恐ろしい震災から2ヶ月が経ちました。私はあの頃、毎年観望会の依頼がある若林区の「海岸公園冒険広場」のご紹介記事の件で、根元さんとお会いすることになっていましたが…。今、冒険広場は再建に向けて動いているようです。私達うちゅうせんも、星空を眺めて心安らげる時間を提供できたらと思います。(伊)

<おことわり>

地震の影響で編集作業が中断し、編集後記の内容が震災前後に分かれてますが、ご了承ください。